

# 平成26年度学校評価指導者養成研修 実施要項

## 1 目的

組織的・継続的に教育活動その他の学校運営の改善を図ることを目的とした学校評価を円滑に推進するため、第三者評価の観点を含めた自己評価、学校関係者評価の生かし方等について、必要な知識及び技能を修得させ、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的とする。

2 主催 独立行政法人教員研修センター

3 共催 文部科学省

4 期間 平成26年7月14日（月）～平成26年7月17日（木）

5 会場 独立行政法人教員研修センター

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

## 6 受講者

### (1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市教育委員会等の管理主事、指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにそれに準じる者。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校並びに特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動を行う予定である者

### (2) 受講定員

受講定員は110名とする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能なので積極な推薦を行うよう努めること。

### (3) 推薦手続き

各都道府県・指定都市教育委員会において、インターネット受講者登録システム」により、平成26年5月7日（水）までに推薦を行う。

推薦する際には学校現場の学校評価を検討する学校部会、教育委員会での学校評価の活用方法を検討する教育委員会部会いずれかを選択すること。

※指導主事等が学校部会、教諭等が教育委員会部会を選択しても構わない。

### (4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦に基づき、独立行政法人教員研修センターが決定し通知する。

なお、受講者は原則として推薦のあったとおり決定するが、推薦状況によっては独立行政法人教員研修センターにおいて調整を行う場合がある。

7 経費 本研修に必要な経費については、全額派遣者負担とする。ただし、一人あたり1万円とする。

8 研修内容 別紙「日程表（案）」のとおり

## 9 演習の内容及び事前課題

### (1) 演習1

(内容) 各地域の学校における学校評価の現状や取組について各グループで話し合い、問題点や課題等について協議する。そして、グループの中から、演習2・3・4において具体的に検討する事例校を1校選び、それについての情報を整理し、検討する。

### (事前課題)

上記協議資料として、学校部会選択の受講者は、平成25年度の自校や自地域の学校における学校評価の状況（目標、具体的な方策、評価項

目・指標、スケジュール等)とその取組を通じた成果や課題を、様式1-1に2頁以内にまとめて事前に提出し、研修当日必要部数を持参する。

また、教育委員会部会を選択した受講者は、各教育委員会の重点的な政策課題と、教育委員会に提出された学校評価シートの活用状況や有効活用に向けた課題を、様式1-2に2頁以内にまとめて事前に提出し、研修当日必要部数を持参する。

なお、本資料を使用し意見交換を行うため、要点を絞り10分程度で説明できる内容を心がけること。

提出期限等については、受講者決定時に別途通知する。

## (当日持参)

### 【学校部会】

- ① 様式1-1(2頁以内) 8部
- ② 各地域における学校評価の指導資料(ガイドラインなど) 1部
- ③ 平成25年度学校経営方針・計画 各8部
- ④ 平成25年度自己評価、学校関係者評価、第三者評価の評価結果(作成した事前課題に係る学校のもの) 各8部
- ⑤ ④の評価結果に関する資料(評価結果の基礎となる資料) 各8部
- ⑥ 平成26年度の学校経営方針・計画(④の評価結果を反映させた学校経営目標達成のための具体的計画であって、目指す学校像、重点目標、具体的方策、評価項目等が分かる資料) 各8部

\* ②について、私立学校、国立大学附属学校は持参しなくてもよいが、独自に作成しているもの等があれば持参する。

\* ④について、自己評価以外は実施した学校のみ持参する。

\* 指導主事等は事例として取り上げる学校の資料(③~⑥)を持参する。

### 【教育委員会部会】

- ① 様式1-2(2頁以内) 8部
- ② 各地域における学校評価の指導資料(ガイドラインなど) 1部  
\* 都道府県教育委員会等の指導マニュアルなど類似資料
- ③ 各学校に提出を求めている学校評価シート(様式) 各8部  
\* なお、個人データ保護の観点から、学校から提出された学校評価シートなど、個別・個人データなどの詳細資料については持参しないこと
- ④ 平成25年度・26年度の教育委員会としての重点施策が分かる資料 各8部
- ⑤ 教育委員会あるいは自治体としての中長期の教育関連計画 各8部

## (2) 演習2・3・4

### 【学校部会】

- ① 演習2では、演習1で決定した各班のモデル事例の学校評価の結果を分析し、学校運営の改善につながる評価計画の見直しを行う。  
例えば、PDCAサイクルのようなマネジメントサイクルの中で自己評価と学校関係者評価が有効に機能しているか、相互関係の在り方等について第三者評価の観点も含めて検討する。
- ② その際にはA(改善)→P(計画)の接続についても検討を行うこととする。
- ③ 演習3ではモデル事例改善策の発表準備及び発表を行う。その中で優れた取組については、演習4において、全体での発表を行う。

### 【教育委員会部会】

- ① 演習2では、演習1で決定した各班のモデル事例を基に、重点的な政策課題の効果及び成果の把握や、各学校から提出される学校評価(シート)を生かすために必要な施策を検討し、学校運営の改善につながる教育委員会の支援の方法やそのプロセスの見直しを行う。

- ② その際には、各学校に提出を求めている学校評価シートの在り方についても検討を行うこととする。
- ③ 演習3ではモデル事例改善策の発表準備及び発表を行う。その中で優れた取組については、演習4において、全体での発表を行う。

なお、文部科学省のホームページ上で公開している以下の資料等を事前に参照すること。

- 「学校評価ガイドラインの改訂について」（平成22年7月20日）  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakko-hyoka/1295916.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakko-hyoka/1295916.htm)
- 学校運営の改善の在り方等に関する調査研究協力者会議「子どもの豊かな学びを創造し、地域の絆をつなぐ ～地域とともにある学校づくりの推進方策～」（平成23年7月5日）  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/078/houkou/1307976.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/078/houkou/1307976.htm)
- 「地域とともにある学校づくりと実効性の高い学校評価の推進について（報告）」（平成24年3月12日）  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/gakko-hyoka/05111601/1318815.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakko-hyoka/05111601/1318815.htm)

## 10 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。
- (2) 本研修終了後、受講者アンケート等を行う。
- (3) 原則として宿泊研修とし、独立行政法人教員研修センター宿泊施設を利用するものとする。
- (4) 本研修は、平成23年度より「地方公共団体の共益的事業として委託等により例外的に実施する研修」として実施している。